

「町並み学習会_八女福島」

～地域遺産の保存・継承活動のこれから～

◎日時：2014年3月1日(土)
17:30～受付開始、
18:00～19:00「講演」～町並み保存とは～
19:00～19:30「鼎談」～町並みのこれから～
19:30 終了予定

◎会場：丸林本家中棟 (車は堺屋駐車場を利用ください)

(八女市本町264、西古松町 ☎070-5690-1471)

※この学習会は、希望者はどなたでも参加できます。

■ 八女福島のまちづくり

住民組織の「八女福島町並み保存会」(＝保存会)は、八女福島の町並み及びその周辺の町並みを、貴重な地域遺産として積極的に活用を図りながら守り伝えるとともに、住環境の向上及び住民意識の高揚を図りながら官民協働による歴史まちづくりを進めるために活動している。

活動は、街なみ環境整備事業(国交省所管)と伝建保存修理事業(文化庁所管、2002年(H14)の重伝建地区選定)を活用した町並みの保存整備事業に関する市への提案と住民への周知、機関紙「町並み通信」の発行による情報発信、建造物の修理事業の見学会や先進地視察、空き家対策などを行っている。

最近では、国交省と文化庁の補助事業による町家の修理・修景事業が進み、空き町家を修理・活用した店舗や工房、住宅等が少しずつ増え、若い世代の町家の継ぎ手も増えている。しかし、一方で少子高齢化が深刻さを増し、空き家が増加傾向にあるのも現実である。特に、大きな建造物で空き家となっているものを保存活用するには、多額の自己資金が必要なため保存修理ができず、老朽化の激しい建造物が増えており、緊急の課題となっている。



八女福島の町並

み

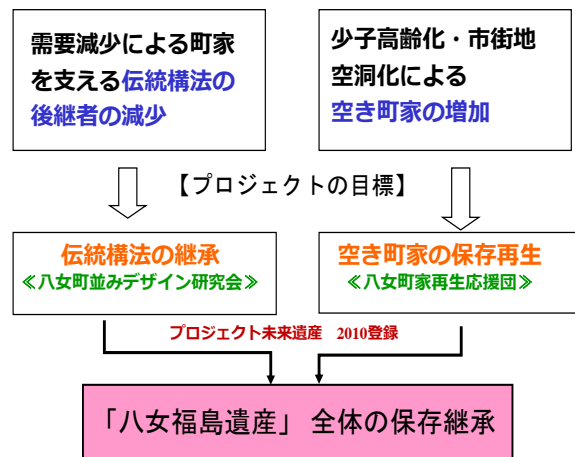
■ 八女福島のまちづくりの特徴

(公社)日本ユネスコ協会の「プロジェクト未来遺産」

八女福島では、まちづくりの課題ごとに様々なまちづくり団体が発足し活動している。また、まちづくり団体は、保存会の構成団体として参画し、活動の一翼を担っている。

特徴として全国に誇れるのは、保存会の構成団体であるNPO法人八女町家再生応援団とNPO法人町並みデザイン研究会の協働プロジェクト「八女福島 空き町家と伝統構法の再生による町並み文化の継承」の取組みである。この活動は、(公社)日本ユネスコ協会連盟として、2009年から日本の各地域の文化・自然遺産を未来へと伝える人々の活動を「プロジェクト未来遺産」という形で登録し、団体と地域を日本全体で応援しているが、その第一号として、登録されている。八女福島では、この登録に恥じないように全国のモデルとして、空き家の保存・再生と、伝統的技術の継承の取組みを継続的に推進している。

◇八女福島の活動：日本ユネスコ・プロジェクト未来遺産登録◇



■ 八女福島のドキュメンタリー映画「まちや紳士録」

2013年8月完成、全国各地で上映中

問合せ: TEL 070-5690-1471、携帯090-8313-6128(北島)

E-mail m-info@yame-machiya.info

HP <http://www.yame-machiya.info>

—高度成長時代 経済の論理 開発の波から多くの町

主催団体：八女福島町並み保存会

所在地：〒834-0031 八女市本町264 市都市計画課内

発行責任者・事務局長：北島 力(きたじま つとむ)

☎：090-8413-6128、email：bynrt982@ybb.ne.jp

<http://yamefukutu.exblog.jp> (ブログ版 八女福島町並み通信)

<http://yame-machiya.net> 「八女町家ねっと」リンク先

役員会等:役員35名、会員数:500名

設立年月日:1994年(H6)12月